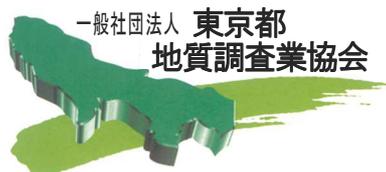


# 東地協ニュース 2015.12 第29号



## 新しいチャレンジについて

大建基礎株式会社  
代表取締役 大門 千 彌

皆様いかがお過ごしでしょうか。

日頃私の感じていることについて、書きたいと思います。

それは、「年齢に関係なく、興味のあることにチャレンジすることが人生を楽しくする」ということです。

実際、社会人になると時間等制約があり、なかなか難しいと思いますが、そのあたりは工夫してみたら大丈夫だと思います。

これまで自分が興味を持った事として、資格を取得するために始めた物理学。

特に力学に関しては、重力とはどういうものか？運動量保存の法則等、とても興味深くまた勉強を通じて素晴らしい方とも親しくなり、とてもすべてのことに役立ち、考え方の基礎となっています。

数学は、それぞれの問題にストーリーがあり、問題を解くごとに頭の体操ができます。

次に体を動かすことですが、20年以上の趣味のほか、最近また新しいことにチャレンジし、夢中になっており、新しい仲間、空気にふれて刺激的な経験を楽しんでいます。

何よりも体を動かすことによって、健康を保つことが出来、頭の回転もよくなります。

スポーツと頭の中は密な関係があると考えます。

特に世界的なトップアスリートは、物事の受け止め方、考え方が素晴らしく、その言動・行動に注目し、リスペクトしています。

自分が何かにチャレンジする際、そのトップアスリートの言葉に励まされ、勇気をもらいました。

芸術の分野では、音楽、映画、絵画等素晴らしい作品が数多くあり、触れることでとても楽しめると思います。

以上が、私が常日頃考えていることです。みなさんも年齢、キャリアに関係なく、新しいこと・興味の持てることに触れてチャレンジしてみるのも素晴らしいことだと思います。

\*\*\*\*\*

大建基礎(株) 平成26年10月1日付 入会  
大門様には広報委員として協会活動にご協力頂いております。

## ● 会議報告等

### ○ 理事会

#### 1. 平成27年度 第3回

日時：平成27年7月14日（火）

- (1) 前回議事録の確認
- (2) 平成28年度東京都予算要望について
- (3) 「足場の組立て、解体に関する特別教育」について
- (4) ボーリング安全講習会（秋季・10月2日、3日）
- (5) 地質講演会(10月14日)・見学会(11月11日)について
- (6) 総務委員会関係
  - 1) 東地協ニュース28号 平成27年6月会員へ配布
- (7) 広報委員会関係
  - 1) 委員会報告（平成27年6月16日）
- (8) 技術委員会関係
  - 1) 委員会報告（平成27年6月10日）
- (9) 日本地球惑星科学連合2015大会 報告
 

(5月24日～5月28日 於：幕張メッセ)
- (10) 東京都・災害協定について
  - 1) 実施体制、連絡系統の更新 ※ 毎年7月1日に行う
- (11) 平成27年度防災展示について
- (12) 暑中広告掲載（公共事業展望特集）について
- (13) 収支報告(平成27年5月～6月)
- (14) 平成27年度 第4回理事会（関東協会）
- (15) 平成27年度 第1回代表理事連絡会議（全地連）

#### 2. 平成27年度 第4回

日時：平成27年10月15日（木）

- (1) 前回議事録の確認
- (2) 平成27年度事業・正味財産(収支)見込表
- (3) 意見交換会(東京都)について
- (4) 広報PRパンフレットについて
- (5) 総務委員会関係
  - 1) 東地協ニュース29号について
- (6) 広報委員会関係
  - 1) 委員会報告（平成27年9月11日）
- (7) 技術委員会関係
  - 1) 委員会報告（平成27年10月7日）

- (8) 「足場の組立て、解体に関する特別教育」報告(7月29日)
- (9) 平成27年度防災展示 報告
  - 1) 東京臨海広域防災公園(そなエリア東京) 防災展示
 

※ 関東協会主体 (8月22日、23日)
  - 2) 東京都・立川市合同総合防災訓練(9月1日)
- (10) 平成28年度東京都予算要望ヒアリングについて
 

民主党 9月8日

自民党 7月22日、27日 9月30日
- (11) ボーリング安全講習会（秋季）報告（10月2日、3日）
- (12) 地質講演会(10月14日)・見学会(11月11日)について
- (13) 平成27年度 第6回理事会（関東協会）
- (14) 都議会民主党の集い(11月26日)について
- (15) 日本地球惑星科学連合2016大会の後援について
- (16) 受注動向調査

#### 3. 平成27年度 第5回

日時：平成28年2月2日（火） 開催予定



## ☆ トピックス (協会行事紹介)

### ◎ 「足場の組立て、解体に関する特別教育」 (7月29日)

建設現場などで広く使用される足場からの墜落・転落による労働災害が近年増加傾向にあります。これを受け厚生労働省は、足場からの墜落防止措置を強化した労働安全衛生規則の省令改正を行いました。本省令は平成27年7月1日より施行されましたが、これにより従前特別教育の義務がない足場の組み立て等作業が特別教育の対象とされるようになりました。また施行日以降は新たに足場の組み立て作業につく労働者は2年以内に特別教育を受講しなければ作業に就くことができなくなりました。そこで当協会では急遽特別教育の機会を設け会員各社に案内をしたところ、大変多く参加希望者がありました。幸い現在業務従事者は特別教育の所要時間が新規の場合の半分3時間であることから、午前・午後の2回講習会を開催しました。

会場は池袋の測量地質健保会館大会議室を利用しましたが、受講者は午前50名、午後27名で午前の部はほぼ満席の状態でした。まず初めに当協会の綱代会長から挨拶をいただき、引き続き3時間の講義に移りました。講師は一般社団法人労働技能講習協会から派遣いただきました。今回の改正で、従前高さ5m以上の足場が対象とされた墜落防止措置の対象が、高さ2m以上の足場に拡大しました。これによりこれまで対象外であったボーリングの簡易足場も含まれるようになり、受講者の方も非常に熱心に受講されていました。

(技術委員 加藤 俊昭)



### 【改正のあらまし】

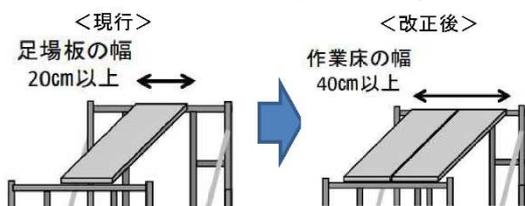
1. 足場の組立てなどの作業の墜落防止措置を充実
2. 足場の組立て作業に特別教育が必要
3. 足場の組立てなどの後は注文者も点検が必要
4. 足場の作業床に関する墜落防止措置を充実
5. 鋼管足場 (単管足場) に関する規定の見直し

### <改正後>

- ① 対象を高さ2m以上の構造の足場まで拡大する。
- ② 足場材の緊結等の作業を行うときは、次の措置を講ずることとする。

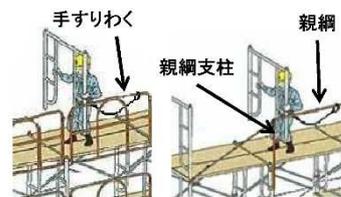
#### イ 幅40cm以上の作業床を設けること。

※ ただし、作業床を設けることが困難なときを除く。



#### ロ 安全帯取付け設備等の設置及び安全帯を使用させる措置を講ずること。

※ ただし、これらの措置と同等以上の効果を有する措置を講じたときを除く。



安全帯取付け設備の例

厚生労働省「労働安全衛生規則の一部を改正する省令案の概要 (足場からの墜落防止対策の強化関係)」より一部抜粋

※ 啓発ポスターを作成しました。(平成27年12月 会員へ配布)



## ◎ 平成 27 年度ボーリングマシン安全衛生特別教育講習会 (秋季 ・ 10 月 2 日～3 日)

当協会が主催するボーリング安全衛生特別教育講習会が2日にわたって開催されました。初日の学科講習は測量健保会館使用して、2日目の実技講習会が東邦地下工機株式会社様の敷地内を使用しました。近年は応募人員が増加傾向にあるため、定員を50人に増やしていますが、今回も募集をかけると早々に満員になる盛況ぶりでした。ボーリングマシンを運転するには「労働安全衛生法」「労働安全衛生規則」で特別教育を修了する必要があります。若年層が減少する我が国において、特に建設業界の就労者減少は深刻な問題です。この講習会をきっかけに特別教育修了者が増えて、少しでも建設業従事者の減少に歯止めがかかり、ボーリング技能者が増えることを望みます。

学科講習会は、まず初めに当協会の西原技術委員長から挨拶をいただき、引き続き学科7時間の講義に移りました。講師は、毎年ご担当されている当協会理事の片山氏でした。全員で51人の参加申込みがありましたが、2人の欠席者が出たのは残念でした。学科講義の内容はボーリングマシンに関する知識、マシンの運転に必要な一般事項に関する知識および関係法令・災害事例等でした。参加者のほとんどが真剣なまなざしで受講しているのが印象的でした。

2日目は実技講習でした。まず、実際のボーリングマシンを使いボーリングマシンの機能や操作概要を学びました。一通り勉強した後で、一人ひとりがエンジンをかける実技を行いました。クランクハンドルを手で回してエンジンをかけるという方法を全員が体験しました。次に2人1組で、ウインチ操作の練習をし、コーンプリーでロープを巻き上げながらモンケン（重錘）を上げ下ろす作業を行いました。操作が非常にスムーズに行える人があるかと思いきや、ちょっと危なっかしい操作の人等もいて、さまざまなレベルの人が見られました。いつもは午前中で終了する多いのですが、受講生も講師も真剣に取り組んだために終了時間は、13時を過ぎてしまいました。1人の欠席者がいたのは残念でしたが、参加者は真剣に実技に取り組まれました。この経験を生かして更に立派なボーリングオペレータになることでしょう。

『安全はすべてに優先する』このことは当業界でもかわりません。今後もこの事業を継続して開催してこの精神を伝えていきたいと考えています。

(技術委員 照屋 秀治)

2 日目 実技講習の様子 (於：東邦地下工機(株)内)



## ◎ 東京都 2015 講演会・地質見学会(五日市巡検)

「黒瀬川帯」あまり馴染みのない地層です。秩父北帯と南帯に挟まれ、関東山地から点々と九州まで確認されるこの黒瀬川帯をクローズアップした五日市巡検を、去る 10 月 14 日に講演会、11 月 11 日に見学会の 2 本立てで、講師に産総研の高橋雅紀先生をお招きして行いました。高橋先生には 5 年前にも『日本海拡大時期に形成された半地溝を巡る』をテーマに関東平野の構造について秩父を模式地として巡検をしていただきました。参加者は 20 名を超え、当協会以外からも多方面の方にご参加いただきました。

今回の黒瀬川帯、この模式地として選んだ五日市は秩父と同様に地質学的な要所で、日本列島を形成している特に付加体の変形しほとんど垂直なっているため、各時代の地層が次々に現れるところでもあります。

講演会では日本列島の特に日本海拡大期を含む東西日本の相対位置の変遷を動画にまとめた講義を受けました。三波川、秩父帯、四万十帯およびこれらの境界の構造線がきれいな縞状構造をあわせた「西南日本外帯をあるはずもない東北日本で探していた。」「東西日本の境界はどこに？」など、地質学的問題をひとつずつ解きながら進めてゆく講義は目を離す暇もありません。

見学会は枕状溶岩や黒瀬川帯として目される蛇紋岩、さらに質の異なる石灰岩などの露頭を巡り、堆積時代の環境を紐解き、それがどのようにしてこの場所に現れたかを丁寧に説明していただきました。

参加者の方々にはなかなか理解が難しいところもあると思います。地質学の常識(はたして常識とは何か問われるところではありますが)を覆す瞬間を垣間見ていると思うただただでも価値ある巡検です。「黒瀬川帯」まだまだ難しい難問です。説明しきれない部分もあります。今後の高橋先生のご活躍が楽しみです。

また、このたびの巡検にはあきる野市、日の出町の職員の方にいろいろお世話になりました。ここに謝意を表します。

(技術委員 太田 智之)



講演会(測量地質健保会館)



見学会(枕状溶岩露頭)



見学会(北秋川集合写真)

◎東京都・立川市合同総合防災訓練 (防災展示ブース出展)  
(於：国営昭和記念公園)

今年の防災訓練は東京都が九都県市の幹事役として、防災の日 9 月 1 日に立川市で行われました。当協会は昨年に続く 5 回目の参加となり、講演部会を中心に 11 名の技術委員で対応いたしました。

訓練のシナリオは、同日 8 時頃、多摩直下を震源とするマグニチュード 7.3 の非常に強い地震が発生したという想定で、陸上自衛隊・警視庁・東京消防庁をはじめとする関係機関を中心に、安倍首相ならびに内閣府の視察もあった大規模なものです。主な訓練は、木造住宅密集地域での火災発生など一般的なものから、高層住宅、多摩モノレールからの救助など地域の被害特性に対応した訓練の実施が盛り込まれております。

当協会は、昭和記念公園の会場において、一般来場者等を対象に、『防災に関する展示・体験を行い、防災意識の向上を図る』ことを目的とし、地震災害、斜面災害のパネルを展示したほか、土地条件図を利用したパソコンでの地盤検索を行いました。当日は生憎の雨模様で協会を含む周辺ブースへの来場者数はあまりない状況で、このうち数名の方に地盤検索をやっていただき、地形、地質からわかる災害のリスクについて説明いたしました。そのほか液状化実験では海外からの方を含め興味深く実験風景を見守っておりました。

今回の防災訓練の目的は、「震災時における都、市、各防災機関との連携の強化及び自助・共助に基づく地域防災力の向上を図るため、実践的な訓練」でありましたが、来場者の話しを聞く機会に恵まれなかったため、当協会が提供する地盤検索が地盤災害リスクを考える上で貴重な情報であることをアピールできなかったことが残念です。

(技術委員 太田 智之)



◆ 都内探訪 (風景写真)

東京タワー (Tokyo Tower)

1958年開業。東京のシンボリックな構造物。



高尾山薬王院 大天狗像

関東山地の東縁に位置する高尾山。天狗伝説も有名。



[撮影：技術委員 糸賀 浩之 氏]

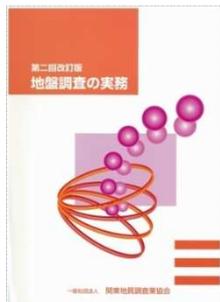
## 書籍紹介

本年、(一社)関東地質調査業協会より改訂発行された関連図書をご紹介いたします。ご関心の向きにおかれましては、関東協会・事務局までお問合せ下さい。(TEL: 03-3252-2961)

### 『第二回改訂版 地盤調査の実務』

平成 27 年 6 月改訂発行

ご好評を頂いておりました「第一回改訂版 地盤調査の実務」が約 10 年ぶりに改訂されました!



同書はフォアマン、若手技術者、営業担当、室内試験従事者も対象とした調査業務全般を網羅した参考書として、検定試験受験者はもちろん、社員教育用として用いられるなど、多くの方々にご利用されてきました。

この度、(一社)東京都地質調査業協会・環境部会の協力を得て、土壌地下水汚染調査の部門を加え、全面改訂を行いました。

- 1) 体裁 A4 判・419 頁
- 2) 目次

#### 第 1 章 地質調査業を取り巻く社会環境

- 1.1 社会一般と建設行政
- 1.2 入札・契約制度と仕様書

#### 第 2 章 地質、土木・建築等の基礎知識

- 2.1 地質調査の基礎知識
- 2.2 地球と地球環境
- 2.3 日本の自然条件と防災
- 2.4 土木・建築等と地質

#### 第 3 章 現場技術の知識 I (ボーリング技術)

- 3.1 ボーリングマシンの分類
- 3.2 ボーリング装置の基本的構成
- 3.3 ボーリングマシンの各装置概説
- 3.4 ボーリング器具および孔壁保護用具
- 3.5 付属器具
- 3.6 運搬
- 3.7 仮設材料
- 3.8 仮設作業
- 3.9 泥水
- 3.10 掘進技術
- 3.11 最近の技術

#### 第 4 章 現場技術の知識 II (試料採取と原位置試験、検層)

- 4.1 土のサンプリング
- 4.2 コアリング (岩盤ボーリング)
- 4.3 原位置試験
- 4.4 孔内検層

#### 第 5 章 現場技術の知識 III (判別分類と室内試験)

- 5.1 土の判別分類
- 5.2 岩の判別分類
- 5.3 室内土質試験
- 5.4 室内岩石試験

#### 第 6 章 解析手法、設計・施工への適用と調査技術

- 6.1 地盤調査の進め方
- 6.2 土質分野
- 6.3 岩盤分野

#### 第 7 章 管理技法

- 7.1 現場管理の概要
- 7.2 工程管理
- 7.3 安全管理
- 7.4 渉外および積算

#### 第 8 章 土壌・地下水汚染調査

- 8.1 土壌 地下水汚染に係る法規
- 8.2 特定汚染物質に関する基礎知識
- 8.3 土壌 地下水汚染調査の進め方
- 8.4 土壌 地下水汚染調査の現場技術
- 8.5 土壌 地下水汚染調査に係る管理技法

### 『改訂版 現場技術者のための 地質調査技術マニュアル』

平成 27 年 11 月改訂発行



本書は、平成 17 年出版の「現場技術者のための地質調査技術マニュアル」を改訂・増補版として企画、発行したものです。

編集に際しては、①先の地質調査技術マニュアルの方針を引き継ぎ、現場技術者にとって試験・計測をする際に利用価値の高いものとする、②最近の技術の進歩を取り入れる、③(一社)全国地質調査業連合会発行の「全国標準積算資料 土質調査・地質調査」、いわゆる赤本に取り上げられている調査項目・順序に出来るだけ準拠させる、④物理探査を加える、を基本方針としました。

ベテラン技術者が執筆を担当しており、経験に基づいたノウハウが可能な限り記載されていますので、現場技術者の必携の書です。

- 1) 体裁 A4 判・474 頁
- 2) 目次

#### 第 1 章 総説

- 1.1 地質調査業の動向
- 1.2 調査手法と役割

#### 第 2 章 仮設

- 2.1 陸上編
- 2.2 水上編
- 2.3 現場管理

#### 第 3 章 ボーリング

- 3.1 岩盤ボーリング
- 3.2 土質ボーリング
- 3.3 サンプリング
- 3.4 地下水採水

#### 第 4 章 土質調査の計測・試験

- 4.1 標準貫入試験
- 4.2 原位置ペーンせん断試験
- 4.3 孔内水平載荷試験
- 4.4 揚水試験
- 4.5 現場透水試験
- 4.6 間隙水圧測定
- 4.7 地下水流向流速測定
- 4.8 地中ガス調査
- 4.9 多点温度検層

#### 第 5 章 岩盤調査の計測・試験

- 5.1 岩盤透水試験
- 5.2 孔内微流速測定
- 5.3 湧水圧試験
- 5.4 グラウチング試験
- 5.5 ポアホールスキャナーおよびその関連装置

#### 第 6 章 物理探査

- 6.1 屈折法弾性波探査
- 6.2 浅層反射法探査
- 6.3 常時微動測定
- 6.4 電気探査
- 6.5 電磁探査
- 6.6 表面波探査
- 6.7 ジオトモグラフィ

#### 第 7 章 物理検層

- 7.1 電気検層
- 7.2 速度検層
- 7.3 密度検層
- 7.4 キャリバー検層
- 7.5 自然放射能検層
- 7.6 磁気検層
- 7.7 温度検層
- 7.8 常時微動測定

#### 第 8 章 サウンディング

- 8.1 スウェーデン式サウンディング試験
- 8.2 機械式コーン貫入試験
- 8.3 ポータブルコーン貫入試験
- 8.4 動的円錐貫入試験
- 8.5 電気式静的コーン貫入試験
- 8.6 オートマチックラムサウンディング

#### 第 9 章 地すべりの計測・試験

- 9.1 傾斜計
- 9.2 伸縮計
- 9.3 移動杭観測
- 9.4 雨量観測
- 9.5 ブロックサンプリング
- 9.6 地下水追跡
- 9.7 水質分析
- 9.8 パイプ歪計
- 9.9 孔内傾斜計
- 9.10 多層移動量計
- 9.11 水位計
- 9.12 地下水検層
- 9.13 簡易揚水試験
- 9.14 自動計測

#### 第 10 章 その他の計測・試験

- 10.1 現場密度試験
- 10.2 平板載荷試験
- 10.3 現場 CBR 試験
- 10.4 地中レーダ
- 10.5 1m 深地温探査

## ■ 会員(正会員・賛助会員)動静

### (1) 住所変更

大和探査技術株式会社 ※ 10月19日より  
 新住所：〒135-0016 東京都江東区東陽5-10-4  
 新TEL：03-5633-8080  
 新FAX：03-5633-8484

住所、代表者、会社名等の変更がございましたら、お手数ですが協会事務局までご連絡をお願い致します。(協会事務局 TEL 03-3252-2963)

## ▲ 行事日程

日程	行事名・内容等
12月15日	(関東) 関東地方整備局との意見交換会
1月13日	(関東・全地連) 新年賀詞交歓会
3月予定	(関東・東京) 防災展 2016 (東京都防災展)
4月予定	(東京) H28 年度 ボーリング講習会(春)
5月予定	(東京) 第32 回定時総会
5月予定	(関東) 第2 回定時総会

## お店紹介

今回のお店は「ステーキハウス Mr.danger 錦糸町店」です。

元プロレスラーの松永光弘さんが営業しているお店の錦糸町店です。

基本は柔らかいハラミ部位のデンジャーステーキですが、お勧めはハンバーグです。

ハンバーグは切った瞬間肉汁が溢れ出て、粗挽きでいかにも肉を食ってる気分になります。

とにかく肉を食べたいという方は、是非!

店名 「Mr.danger 錦糸町店」  
 住所 東京都墨田区太平2-3-4-102  
 電話 03-3829-5515  
 営業時間 昼 11:30~14:00  
 夜 18:00~23:00 (オーダーストップ22:30)  
 定休日 土・日曜日、祝祭日



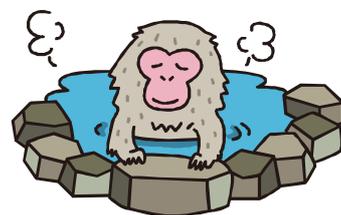
## ・ 編集後記 ・

自転車を買いました。クロスバイクという奴で、マウンテンバイク(タイヤが太く不整地を走るタイプ)とロードレーサ(いわゆる競争用でハンドルが下に曲がっているタイプ)の中間という位置づけの車種です。

きっかけは、以前から自転車が好きで、出かける用事がある時には、数駅くらいの距離なら自転車を利用していたのですが、ある日、クロスバイクに後ろからあっさり抜かされ、しかもシャカリキに漕いでも追いつけないようなスピード差があったことに驚いたからです。私の自転車はママチャリですが6速変速で、自転車歴の長い私としてはそれなりの速度は出ると自認していたのですが。

翌週、近所の少し大きめな自転車屋さんに行って、初心者である旨を伝え希望の車種をいうと、勧められた自転車は5万円程でしたが、運動として健康にも良いと思い購入しました。

そこで、まずは購入後、結構恐る恐るなれない自転車に乗って漕ぎだしたのですが、驚きました。そのスピード感や軽さは、正直新しく体験する世界とっていい程でした。その後、私はクロスバイクにハマって行くのですが、詳細な報告や体験談は又後日という事で。(A, K)



## 東地協ニュース 2015.12 第29号

発行・編集 一般社団法人東京都地質調査業協会

〒101-0047 東京都千代田区内神田 2-6-8 (内神田クレストビル)

TEL 03-3252-2963 FAX 03-3252-2971

<http://www.tokyo-geo.or.jp/> E-Mail [info@tokyo-geo.or.jp](mailto:info@tokyo-geo.or.jp)